〒602-8580 京都市上京区新町上立売西入ル西大路町 61-1
TEL075-251-3185 ©同志社大学体育会機関紙
Doshisha Sports アトム
令和６年（2024）
07/12 金曜日
春季結果号
発行人 渡邉凌太郎
編集人 浅川明日香
http://doshisha-atom.net/

団結力示した栄冠

同志社アトム

島田組

黄金時代の幕開け

軟式野球部

2面 アメフト他
3面 ソフテニ他
4面 体育会生とバイト
5面 アトム特集
裏面 サッカー男子

最強の盟友

最年長バッテリーが帰ってきた。３年生で引退を迎える部員が多い中、中村豊、吉岡はチームに残留することを決意。積み重ねてきた実績を自信に変え、中心選手として存在感を発揮している。

昨年度主将を務めた中村豊は後輩たちのサポートに尽力しながら、三塁手をメインに捕手としてもリーグ戦に出場した。また、遊撃手と投手の二刀流で活躍する吉岡は今季打者として打率３割をマーク。今年は２度目のベストナイン遊撃手を受賞するなど、活躍ぶりはとどまるところを知らない。

攻守の要を担う２人には、高校時代から築いた厚い信頼関係がある。第10戦対立命大戦では昨春ぶりにバッテリーが復活。全国大会での再結成にも期待がかかる。

強豪立命大を倒すことができず悔しさが残った３年間。最後のシーズンでリーグ優勝を果たし、全国出場を決めた。勢いそのままに有終の美を飾るべく、全国の舞台でも下級生を支え続ける。

▲左から吉岡（GR４）、中村豊（社４）

VS. 関大	VS. 大阪公立大	VS. 甲南大	VS. 関学大	VS. 大阪公立大	VS. 立命大	VS. 関学大	VS. 甲南大	VS. 関大	VS. 立命大
4・1	4・11	4・17	4・18	4・29	4・30	5・8	5・9	5・14	5・17
3−2	2−0	7−6	4−3	1−0	8−4	6−2	4−2	3−1	3−9

春季リーグ戦績

◆4月1日〜5月17日◆2024年度関西六大学軟式野球連盟春季リーグ戦◆於・寝屋川公園第一野球場（大阪府）他◆頼れる主将が大舞台への道を切り開いた。手に汗握る試合に何度も競り勝ち、無敗で挑んだ関大との大一番。序盤は白熱した投手戦を繰り広げ、拮抗（きっこう）した展開が続く。しかし、6回に会心の一撃を浴びせ勝利を飾ると最終戦を待たずして優勝を決めた。苦難の日々を乗り越え、強力なチームへと進化を遂げた島田組。5年ぶりにリーグ王者に君臨し、最大の目標である日本一を見据えた。

ほえる島田
【切り込み写真】
右・バットを振り抜く
左・ポーズを決める部員たち
（撮影・近藤真子）

島田涼平
（しまだ・りょうへい）
２００３年４月20日生まれ。京都府・同志社高校出身。ポジションは内野手。右投げ右打ち。１７０㌢・65㌔。スポーツ健康科学部3年。

「リーグ優勝は全国制覇の第一歩」

待望の瞬間

全員で勝ち取った優勝だった。ゲームセットの瞬間、感情を爆発させてマウンドに集う。「今日までしてきたことがやっと正解になった」（島田）。待ちわびた２０１９年春以来のリーグ王座奪回に、歓喜の輪の中で笑顔がまぶしく輝いた。

開幕から紙一重の勝負を制し、敗北の文字を知らないまま宿敵立命大との一戦に臨んだ。序盤に２点を献上するも、６回に打者一巡の猛攻を浴びせ逆転勝利を果たす。難敵を撃破し波に乗ると、ゴールテープまで一直線だった。着実に白星を積み上げ、２位の立命大とのゲーム差は2・5まで拡大。第9戦の対関大戦開始前時点でリーグ制覇まであと1勝に迫っていた。

緊迫した投手戦を展開し、１―1で迎えた6回。吉原（スポ3）が内野安打で出塁すると、1死一塁の場面で島田に打席が回る。１ボールからの2球目、甘く入ったストレートを逃さず打ち抜いた。「1、2打席目は合っていなかったので、試行錯誤した」（島田）。確信に満ちた打球はレフト方向へ特大アーチを描き、勝ち越しに成功。値千金の一発で自ら試合を決し、チームを頂点へ導いた。

特訓重ねた

島田組の軌跡は逆境から始まった。今年のテーマを「チーム力」に設定し、選手個人の力を引き出すことを念頭に置いた。しかし、初陣となった新人戦では努力のかいなく完敗。「この時点では運営の仕方を間違えていた。それでもみんなは信じてついてきてくれた」（島田）。長期オフを終えた2月1日から本格的に始動すると、幹部を中心に新しい取り組みを導入。個人の筋力トレーニングや短時間で質の高い練習を行うことができるメニューを考案した。

一方、課題だった得点力不足に対しては、バッティングに費やす時間を増やし打撃力を強化。つないだチャンスをものにし、投手陣がリードを守る。全員が戦力となる組織づくりを目指した改革の一つ一つが快進撃を支えた。「チームメートには本当に感謝しかない」（島田）。仲間が1人でも欠けていれば、栄光をつかむことはできなかった。

揺るがない

リーグ制覇を成し遂げたとはいえ、島田組にとってはここからが本番だ。「まだ戦い半ば。去年見た全国の景色が鮮明に浮かぶ」（島田）と少しの慢心もない。数々の敗北に涙をのんだ過去に別れを告げ、強い同志社の時代へ。昨年度の結果を超え、その先にある日本一の景色へ向かって駆け抜ける。【金海彩夏】

◆春季リーグ戦順位表◆

順	大学名	勝	敗	分	勝 率
①	同志社	9	1	0	0.900
②	立命大	8	2	0	0.800
③	大阪公立大	4	5	1	0.444
④	甲南大	3	6	1	0.333
⑤	関学大	3	7	0	0.300
⑥	関　大	2	8	0	0.200

TITLE HOLDER

島田涼平
盗塁王
丸本拓弥（商3）
ベストナイン
外
吉岡樹生
ベストナイン
遊
唐木弦（政策3）
最優秀防御率選手賞
ベストナイン
投

異彩放った

最優秀防御率賞を受賞し、成尾と並んで２大エースと評価された唐木。大黒柱として島田組を支え、安定感を見せつけた。

入学後は捕手としてプレーしていたが、昨秋から投手に挑戦。すぐさま頭角を現すと、今季は先発として２完投をマークした。リリーフとしては７試合中５試合で無失点を記録。「連投しても球威が落ちないので頼りにしている」（島田）。接戦を繰り広げた第９戦対関大戦では７回から登板。重圧をものともしない屈強なメンタルを武器に２点リードを守り抜いた。「自分なら抑えられると思っていた」（唐木）。冷静なプレーで優勝に花を添えた。

転向１年目ながら今シーズンの戦績を語る上で欠かせない存在となった。新たなポジションで輝きを放ち、チームの勝利のために自身の右腕をささげる。

NEXT GAME

8/19〜8/23
第4回全日本大学軟式野球選抜大会
SUMMER CUP 2024
@長野オリンピックスタジアム 他

レイアウト　保野百香

夏炉冬扇

▼夢と向き合うことから逃げてきた。学生記者として選手を追い続けた3年間。人生を懸けて夢を追いかける選手たちとは正反対に、周りの目を気にしてためらった。自分を変えたい。そんな思いで筆を執った▼二卵性双生児の運動神経がいい方。勉強面では兄に勝ったことがなく「なんでこんなにできないんだろう」が口癖だった。人と比べては落ち込む日々。そんな沈んだ心を見透かされたのか。降り出した雨が無数の槍のように突き刺さる。耐え切れなくなってうつむくと一輪の花がアスファルトの割れ目から顔を出していた▼6月14日、背番号18が帰ってきた。電光掲示板に示された「奥川」の文字。ヤクルトスワローズの奥川恭伸選手が約2年ぶりに1軍のマウンドに立った。「おかえり」と書かれたボード。左翼席から響く「頑張れ！奥川」のコール。多くの観客が見守る中、980日ぶりの復活勝利を飾った。「長い間待たせてしまった」。試合後のヒーローインタビューでは涙が止まらなかった▼葛藤があっただろう。プロ2年目の華々しい成績から一転。度重なる故障で先の見えないリハビリを強いられ、もう駄目だと思った時もあったはずだ。それでも、選んだ道は間違っていなかったと証明することは彼の『宿命』だった。支えてくれた人たちに恩返しをするために▼やっと気が付いた。歩き出すのも、歩みを止めるのも自分自身なのだと。群青と橙に染まった空を眺めながら、清新な空気を胸いっぱいに吸い込んだ。夢を夢のまま終わらせたくない。できなくても失敗してもまた前を向く。何度も花を咲かすハルジオンのように。【渡邉柚果】

速報 企画 号外
随時更新中！
同志社の“なう”をつぶやきます！
@atom_doshisha

ヘッドライン
過去紙面掲載
スマホ対応
同志社スポーツアトム編集局
official web site
ホームページはこちら

YOUR Life Station
石鎚会は、同志社アスリートを応援しています！
毎週火曜日の整形外科外来は
同志社大学スポーツ
健康科学部教授の
北條 達也先生が診察を
担当されています
医療法人社団 石鎚会
救急告示病院　臨床研修協力病院
京都田辺中央病院　TEL.0774-63-1111
〒610-0334
京都府京田辺市田辺中央六丁目1-6
（近鉄新田辺駅から徒歩２分 JR京田辺駅から徒歩３分）
https://www.sekitetsukai.kyoto
石鎚会のInstagramはこちら
石鎚会グループの魅力や情報を
発信しております。

逆境はねのけ高みを目指す

2022年9月、元部員の不祥事が発覚した。無期限の活動停止に追い込まれ、自動的に2部降格が決定。絶望を経験したアメリカンフットボール部は今、再建を図っている。

「日本一の集団になるための取り組みをする」(佐々木康)。たくさんの人に愛され、応援されるワイルドローバーになるために取り組んできたことは多岐にわたる。部員たちは外部講師によるコンプライアンスやスポーツマンシップ、チームビルディングについての研修会を受講。さらに、交通整備や小学生の下校を見守るなど、地域のボランティア活動も積極的に行った。

復活に向けた環境づくりに終わりはない。どん底から這い上がり、再び1部リーグ昇格へ。現状に慢心せず、進化し続けた先に必ず光が見えてくる。

強敵に勝ち星挙げた 敢闘

来季への確かな自信 アメフト

◆4月27日◆今出川ボウル2024◆対京大◆於・京都大学農学部グラウンド◆今出川ボウルで京同釜を取り返した。第1Q（クオーター）中盤、久場（法4）が先制点を獲得する。勢いに乗りたいところだったが前半終了間際に失点。しかし、第3Qに樋口が見せた。スピードを生かした走りで、2度のTD（タッチダウン）に成功。反撃を受けるも最後までリードを守り抜き21—14で勝ち切った。秋シーズンも全員で勝利を追い求める。

雪辱果たす

昨秋のリーグ戦では1部昇格がかなわなかったアメリカンフットボール部。今季は屈辱を晴らすべく、本番を意識した練習を重ねてきた。迎えた初陣は長年敗北を喫している京大との戦い。点差を縮められる場面もあったが、粘り強くプレーを披露し、17年ぶりに京同釜を奪還した。

果敢に挑む

「何がなんでも、最後は勝つことにフォーカスを当てて試合に臨む」(佐々木康)。序盤から佐々木康のパスが何度も通り、ファーストダウンを更新。第1Q残り6分19秒、久場のTDランが成功し先制点を獲得した。

会場が大きな歓声に包まれると同時に、ワイルドローバーのボルテージも上がる。しかし第2Qは京大のオフェンスを攻略することができず、同点に追い付かれた。

ゲームが大きく動いたのは第3Q開始2分35秒。樋口が持ち前の俊足でディフェンスを巧みにかわし、エンドゾーンに飛び込んだ。「このワンプレーのためだけにずっと練習してきた成果が出たので、すごくうれしい」(樋口)。オフシーズンに負ったけがから復帰して約2週間。練習の遅れを感じさせない力強い走りでチームに大きく貢献した。

この得点をきっかけにDF陣の勢いも増す。「自分のところにボールが飛んできたら、絶対インターセプトをしてやろう」(山本・法3)。自陣17ヤードまで侵攻されたが、山本が相手ボールをキャッチし、ピンチを切り抜けた。仲間の活躍に応えるように再び樋口が動き出す。自陣35ヤード地点から65ヤードを走り2度目のTD。「自分が走るべき道を走ることができた」(樋口)と自身のビッグプレーを振り返った。

第4Qでは佐々木康のギャンブルが不成功となり、追加点につながらない。残り1分49秒で失点を許し、7点差に迫られた。しかし山本のパスカット、中村(スポ3)のインターセプトにより攻撃を阻止。「誰よりもボールへの執着心は強かった」(山本)。初スタメンながら確かな爪痕を残した。

期待高まる

佐々木康は「良いヒットをしようと心がけたことで、思い切りプレーできた」と勝因を分析。追い求めてきた京同釜を手にし、安堵(あんど)の表情を浮かべた。それぞれが自身の役割を遂行し、勝ち星をつかんだ佐々木康組。秋季リーグ戦では1部昇格へ負けられない戦いが続く。全部員の思いを結集し、悲願を達成するまで歩みを止めない。【沼野涼音】

◆樋口慶太郎

（ひぐち・けいたろう）２００３年６月５日生まれ。大阪府・同志社香里高校出身。ポジションはＲＢ。１７７センチ・77キロ。商学部３年。

ボールを抱え走る樋口
【切り込み写真】
京同釜を手に持つ佐々木康（商４）
（撮影・河村柚希）

今出川ボウル 2024@京都大学農学部グラウンド	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
同志社大学 WILD ROVER	7	0	14	0	21
京都大学 GANGSTERS	0	7	0	7	14

底力見せつけ完全勝利

◆５月12日◆第78回定期戦◆対立大◆於・ＭＫタクシーフィールドエキスポ（大阪府）

関東１部リーグに所属する強豪校との一戦。攻めの姿勢を貫き、14—０で白星を挙げた。

序盤は太田原（ＧＲ２）が立大のロングパスをインターセプトするなど、堅い守りでチームを勢いづける。０—０と両者一歩も譲らず第４Ｑへ突入した。久場のランプレーで敵陣49ヤードまで攻め上げる。佐々木康から羽入（スポ２）へのロングパスで先制すると均衡状態を打破。その後も久場が躍動し追加点を奪い取ると、立大を完封勝ちで下した。

「ギリギリの試合を勝ち切れたことは大きな収穫」（佐々木康）と満足げな表情を見せた。この経験を自信に、さらなるレベルアップを図る。

▲試合前に円陣を組む選手たち

馬術部

◆５月３・４日◆第59回全関西学生馬術大会◆於・三木ホースランドパーク（兵庫県）

優勝を目標に掲げていた泉(社３)。華麗な走りで観客を魅了するも、最終結果は３位にとどまった。

障害馬術の第１走行では終始安定感のある満点走行を披露する。「私とくー（クアドリフォリオ）ならできると思って果敢に攻めることができた」。前回王者の貫禄を示し、ジャンプオフへ駒を進めた。

スピードが順位に関わるため、正確性と無駄のないコース取りが欠かせない。スタートから速さを意識し、減点０の走行を続けた。しかし、最終障害で１落下し減点４。出場選手の中で最速タイムを記録したが、連覇にはあと一歩届かなかった。次戦に控えるのは今月行われる関西学生賞典障害馬術大会。頂を勝ち取るべく今後も愛馬と共に突き進む。

◆全関西学生障害馬術個人結果◆

順	名前	馬　名	大学名	ジャンプオフ減点	ジャンプオフタイム
①	漆原	カリエーレ	関　大	0	39.32
②	島村	千　蘭	関　大	0	43.12
③	泉	クアドリフォリオ	同志社	4	39.10

ボート部

◆４月27・28日◆第９回西日本選手権競漕大会◆於・大阪府立漕艇センター

新体制初戦で好調なスタートを切った清水(社４)・東野(スポ２)ペア。圧倒的な強さを証明し、西日本王者の座をつかみ取った。

昨年の全日本選手権では女子ダブルスカルに出場。表彰台に届かず悔しさが残った。「レースの感覚をつかみ、確実に１位を狙いにいく」(東野)と無念を晴らすべく挑んだ今大会。予選から攻めの姿勢を崩さず、順調にファイナルＡへ駒を進める。決勝では息の合った力強いストロークで大阪公立大と約26秒差をつけ、快勝を収めた。

清水にとって今年は大学生活最後の１年。「このまま勢いに乗って、これからの大会も全て優勝できるように頑張りたい」(清水)。深めた絆の強さを見せつけ、東野と二人三脚でゴールラインへたどり着く。

◆西カレ女子ペア予選◆

順	大学名	タイム	差
①	同志社	07:54.94	—
②	大阪公立大	08:18.67	+23.73

◆西カレ女子ペア決勝◆

順	大学名	タイム	差
①	同志社	08:33.52	—
②	大阪公立大	09:00.39	+26.87

準硬 中谷組 待ってろ全日

◆５月３日～６月15日◆令和６年度関西地区大学準硬式野球トーナメント大会◆於・ベイコム野球場（兵庫県）他

「素直にうれしかった」(中谷)。大教大を10—０で圧倒し、２年ぶりに全日本選手権大会(以下、全日)への切符を奪取した。

甲南大との決勝戦では３—１でリードするも、最終回に５点を奪われ逆転負け。悔しさをにじませたが、すぐさま気持ちを切り替える。全日出場枠はあと一つ。中谷組は一致団結し、大教大と第５代表の座を争った。

阪神六大学春季リーグ優勝の実力を持つ相手に、先発の望月(スポ４)が５回までを被安打１、四死球０と好投。打撃面では２回に先制点を奪い、勢いに乗った。その後も着実に得点を追加し、６回に篠原(商４)の本塁打で10—０とする。最後は望月に代わって登板した中曽(理工３)が試合を締めた。負けることができない正念場で底力を発揮。諦めない気持ちが実を結び、勝利を引き寄せた。

「毎試合挑戦者として、全国相手に挑んでいきたい」(中谷)。苦しい状況に置かれても、不屈の精神で逆境を乗り越えてきた。７年ぶりの日本一へ。全員野球で優勝旗をつかみ取れ。

拳を突き上げる中谷

◆中谷暸太

（なかたに・りょうた）２００２年11月27日生まれ。広島県・広陵高校出身。ポジションは内野手。右投げ左打ち。１７０センチ・63キロ。経済学部４年。

◆全日関西代表校◆

第１代表	京産大
第２代表	関　大
第３代表	京都先端科学大
第４代表	甲南大
第５代表	同志社

トライアスロン部

◆６月16日◆２０２４西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会◆於・しまなみビーチ及び因島アメニティ公園周辺特設コース（広島県）

男子は岡田(Ｍ１)、女子は尾崎(スポ３)が３位に入賞。インカレ出場を決めた。

全日本の出場権を巡って熱戦が繰り広げられた。岡田はランで一時トップを走る好調なレースを展開。「ランで最後に抜かれ順位を落とした」(岡田)。大会を終え、持久力の強化が課題となった。一方の尾崎はスイムで出遅れるも、バイクラップでは１位に躍り出る。急坂のあるランでは、リズムとスピードのメリハリを意識。２年連続で予選突破を果たし、「プラン通りに走れた」と振り返った。

「声援が力になる」(岡田)。９月の全国大会も応援を力に、己の意地を見せつけゴールを目指す。

◆西カレ女子結果◆

順	名前	大学名	タイム
①	小原	立命大	2:23:10
②	入江	関　大	2:26:28
③	尾崎	同志社	2:27:35

◆男子結果（近畿、中国・四国）◆

順	名前	大学名	タイム
①	大場	立命大	2:08:29
②	小山	近　大	2:08:51
③	岡田	同志社	2:08:57

激闘制し頂へ

男子バスケットボール部

ドリブルをする柄澤

柄澤日向

（からさわ・ひなた）２００５年１月21日生まれ。群馬県・新島学園高校出身。ポジションはＳＧ。１８０センチ・75キロ。スポーツ健康科学部２年。

◆５月17日◆第２回全日本大学バスケットボール新人戦関西予選◆決勝◆対天理大◆関西大学千里山キャンパス東体育館（大阪府）

数々の難敵を退け、迎えた決勝。ダブルオーバータイムにもつれ込む激闘を制し、９年ぶりに関西王者に輝いた。

前半は天理大優勢だったが、第３Ｑで同点に追い付く。第４Ｑでは西村（スポ２）の攻守にわたる活躍が光るも、互いに一歩も譲らず試合は延長戦へ。ファウルトラブルにより思うようなディフェンスができなかったが、柄澤のシュートで今試合２度目のオーバータイムに持ち込んだ。手に汗握る大接戦の終盤、柄澤がジャンプシュートを放ち78—77に。残り数秒のディフェンスに燃える中、長谷（法２）のブロックショットで相手の攻撃を阻止。わずかなリードを守り切り優勝を決めた。

「チーム全員で勝利をつかめたことは本当にうれしい」（柄澤）。全国大会というハイレベルな戦いを通して、成長を遂げる彼らの快進撃を見逃すな。

同志社（昨季８位）	78	14-21 12-12 17-10 19-19 16-15	77	天理大（昨季３位）

レイアウト　伊藤愛梨

同志社スポーツユニオン
体育会５１クラブのOB・OGから組織されています
同志社スポーツユニオンは同志社アスリートを支援、応援致します！
http://www.doshisha-su.com/
ウェブサイトを通じて同志社スポーツを応援しましょう！
新年度　ウェブサポーター　募集中！
お申込み・お問い合わせ
〒610-0394
京田辺市多々羅都谷1-3
同志社スポーツユニオン事務局
TEL：0774-65-7418　FAX：0774-65-7416
E-Mail：jt-1spor@mail.doshisha.ac.jp

スポーツを届けよう！
ここだけの1枚で。
GAOW SHOP
STAR FORM
starform.jp

同志社 田辺キャンパスから 約３分！
同志社女子大　駅前申込所
同志社大学　送迎バス 毎時３便　JR同志社前駅
三山木駅
●当校
山城田辺自動車学校
京都府京田辺市普賢寺中島4-9　TEL 0774-63-6600

定期購読受付中!!
お申込みはこちらから▶▶
https://doshisha-atom.net/subscribe/
年間購読料　￥2,000
年６回発行！
ご自宅まで配送いたします！

ソフトテニス部

王座死守

林樹杏
（はやし・じゅあん）
2002年6月16日生まれ。三重高校出身。ポジションは後衛。167㌢・60㌔。社会学部4年。

ボールを打つ林【切り込み写真】ボレーの機会をうかがう宇都（文情1）

組織力発揮し歴史つないだ

◆5月3・4日◆令和6年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦◆於・長浜市民庭球場（滋賀県）◆昨年に続き関西王者に輝いた。大一番となったのは初戦。関学大と対峙（たいじ）し、激闘を繰り広げた。卓越した技術でピンチを切り抜け白星を獲得。その勢いは衰えることなく、4連勝を飾り、優勝が確定した。最終戦で天理大に敗北を喫したものの、抜群のチームワークで王座を死守。9月に行われるインカレでは、関東の大学との戦いが待ち構える。露呈した課題を改善し、目指すは日本一。新鋭を加え、さらなる大舞台で飛躍を誓う。

目標達成

照り付ける太陽と期待のまなざしが会場の熱気を高めた。昨春関西王者に君臨した威厳を保つべく、堂々としたプレーを披露。「ベストを尽くせば勝てると信じていた」（林）。重圧をはねのけ頂点の座を守り抜いた。

熱戦制す

初戦から強豪関学大と対戦し、苦戦を強いられた。1戦目に沼尾（文情4）・長根（スポ2）ペアが出場すると、強気なスマッシュで得点を稼ぐ。好スタートを切るも、林・滝瀬（商4）ペア、シングルスの清水が敗北。一戦たりとも落とせない中、佐藤（経2）・宇都ペアがコートに立った。同じ高校出身の2人は、抜群のコンビネーションで相手の巧みなレシーブに対応。G（ゲームカウント）4―2で勝利し、2勝2敗で運命の第5戦へつなげた。

最終戦を任されたのは塚本・大原（経4）ペア。1ゲーム目をストレートで奪うと、ラリー勝負を幾度も制しG3―1とする。中盤まで試合を優位に進めるもミスが続き、ファイナルゲームまで持ち込まれる激戦となった。緊張感の漂う中、ルーキー・塚本の逆クロスを抜く好プレーが光る。コースを狙ったレシーブで後衛を翻弄（ほんろう）。連続で追加点を挙げ、勢いを加速させた。完全に主導権を握り、7―3でゲームを奪取。今大会最大の山場を乗り越え、胸をなで下ろした。

大舞台へ

昨年の関西六大学秋季リーグ戦で栄冠をつかみ、新体制として迎えた3度目の団体戦。「同志社がきっと勝つだろう」。周囲からのしかかるプレッシャーに焦りを募らせるも、培ってきた技術力を自信に変えた。順調に白星を重ね、早くも4戦目に優勝が確定。「盛り上がればどこにも負けないチーム力がある」（林）。仲間に絶大な信頼を置き、応援メンバーを含めた全員で連覇の称号を勝ち取った。

一方で、消化試合となった対天理大戦では2勝3敗で敗北し、完全優勝とはならなかった。「最後、締まりのない試合になったのが今後の改善点」（花田監督）。精神面と体力面の強化を課題とし、限られた時間を練習に費やす。次なる目標は全国制覇ただ一つだ。加わった新戦力を起爆剤に、実力者ぞろいのインカレに立ち向かう。ひたむきにラケットを振り、コートの上で輝きを放て。【白川愛梨】

◆春季リーグ戦績◆

試合	対戦校	スコア	結
第1試合	関学大	3―2	勝
第2試合	立命大	5―0	勝
第3試合	関西外大	4―1	勝
第4試合	関　大	4―1	勝
第5試合	天理大	2―3	敗

戦友と共に世界へ

小学校時代から一番のライバルであり、親友でもある清水と塚本が大車輪の活躍を見せた。「関東勢に勝てることを示したい」（塚本）。早くも団体戦の主軸としてメンバー入りし、存在感を放った。

それぞれ大阪と愛知で生まれ育ったが、何度も大会で顔を合わせるうちに仲を深めた。大きな転機は清水が「一緒に同志社でプレーしたい」と塚本を誘ったことだ。大学で初めて同じエンブレムを背負い、技術を磨き合うことを決めた。「2人でチームの中心になる必要がある」（清水）。部の未来を背負う覚悟を示した。

私生活でも仲の良さは健在。毎日の食事を共にしながら、ナショナルチームに入ることを夢見る。打倒関東勢に向け固い絆で結ばれた親友コンビが共闘し、相乗効果を生み出す。

▲左から清水（商1）、塚本（スポ1）

硬式野球部

◆4月13日～5月26日◆令和6年度関西学生野球連盟春季リーグ戦◆於・わかさスタジアム京都他

13年ぶりのリーグ制覇を目指し臨んだ今シーズン。序盤は黒星なしで連勝街道を突き進んだが、その後調子を崩し、首位争いは三つどもえに。厳しい状況の中、関学大を迎え撃った。しかし、6連勝中と勢いに乗る相手を前に1勝を挙げるのが精一杯。攻守で振るわず敗戦し、神宮の夢は無残にも目前で散った。

同立戦では多くの観客が詰めかける中、髙木（商4）をはじめ投手陣が力投した。打撃陣では岡村（法4）、浅野（法4）が殊勲の一打を放つなど、4年生が躍動。立命大を振り払い2連勝を飾った。

3位という悔しい結果で終わった春季リーグ戦。総力を尽くし、秋こそリベンジを果たす。

◆春季リーグ戦順位表◆

順	大学名	勝点	勝	敗	分	勝率
①	関学大	4	9	3	0	0.750
②	近　大	4	8	3	1	0.727
③	同志社	3	7	4	3	0.636
④	京　大	2	4	6	1	0.400
⑤	関　大	2	4	6	1	0.400
⑥	立命大	0	0	10	0	0.000

舞台裏の英雄

NO.2 バレーボール部男子

マネジャー兼アナリスト

消えぬ情熱

杉本心寧
（すぎもと・ここね）
2003年7月8日生まれ。奈良県立畝傍高校出身。155㌢。政策学部3年。

笑顔を見せる杉本

「マネジャーというより、仲間でありたい」。選手に一番近い存在としてチームを支える。

慢性的な腰の痛みにより、高校入学時に選手生活を断念。しかし7歳から続けてきた競技への未練は消えず、マネジャーへの転向を決意した。

大学進学後は自主練習のため、部員と21時まで体育館に残る日々を過ごす。自身の責務を全うする中で洞察力と積極性が認められ、アナリストに抜てきされた。主な仕事はデータ分析。専用のソフトを使い何百ものパターンを組み合わせる。返球率を算出し、敵の癖や弱点を可視化。ゼロからデータ分析を始めることは想像以上に困難だったが、幾度の挫折経験を糧に腕を磨いた。「自分が取ったデータを基にした戦略が通用した時にやりがいを感じる」。努力が結果に結び付いた時の達成感は計り知れない。

マネジャー兼アナリストという2つの重要な役割を担う杉本。陰の立役者としてこれからも全身全霊を傾ける。

逸材の台頭

三段跳中田

跳躍する中田

◇中田凱斗
（なかた・かいと）
2005年7月17日生まれ。京都府立北稜高校出身。種目は三段跳と走幅跳。177㌢・65㌔。スポーツ健康科学部1年。

◆陸上競技部◆5月24日◆第101回関西学生陸上競技対校選手権大会（T&Fの部）◆於・たけびしスタジアム京都

京都インカレで優勝し、今大会の出場権を手に入れた中田。「とにかく勝ちにこだわった」。助走スピードを上げるために取り組んだスプリント練習が功を奏し、表彰台に登った。

3本目を終え暫定8位以内の選手が4本目以降に進むことができる。序盤に記録を残せず臨んだ3本目。流れるような跳躍を披露すると、入賞圏内に食い込んだ。苦しい状況に陥るも集中力を切らすことなく、攻めのジャンプを続ける。「中途半端に終わっても意味がない」。観客に手拍子を求め会場全体を巻き込むと、最後の跳躍で自己ベストを更新する15・52㍍の記録を残し準優勝に輝いた。

「自己ベストは出たが、2位という結果は悔しい。16㍍を跳んで日本一になりたい」と現状に満足しない。全日本インカレの標準記録を突破したことで、新たな道が開けた。大学日本一への挑戦は始まったばかりだ。

◆男子1部三段跳順位表◆

順	名前	大学名	記録
①	高蓮太郎	立命大	15m60
②	中田凱斗	同志社	15m52
③	安藤寛峻	神戸大	15m47
④	梅尾鷹兵	関学大	15m38
⑤	磯本楓太	関　大	15m38
⑥	杉山　慧	関　大	15m26

バドミントン部李

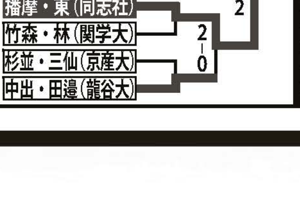
◆5月12日～6月6日◆令和6年度関西学生バドミントン選手権大会◆於・和歌山ビッグホエール他

播摩（商4）・東（商3）ペアが関西の頂点に輝いた。準決勝では強豪龍谷大と激突。相手を恐れることなく果敢に挑み、ストレート勝ちを飾った。

三嶋・土井ペア（関学大）との決戦では、序盤から互いに火花を散らした。第1ゲームを11―10で折り返すも、主導権を譲りこのゲームを落とす。しかしここから逆転劇が幕を開けた。東のスマッシュや播摩の虚を突いたレシーブがさえ渡る。2ゲームを連取し、土壇場から逆転勝ちを収めた。

次なる舞台は西日本選手権。「とにかく上を目指す」（東）と貪欲に勝利を渇望する彼女たちに期待が膨らむ。

◆女子ダブルストーナメント◆



ボードセイリング部

海上を席巻

波に乗る（左から）森居、谷山

◆森居華
（もりい・はんな）
2003年9月1日生まれ。京都府・同志社高校出身。セイルナンバーは35―7。162㌢。社会学部3年。

◆谷山叶佳
（たにやま・きょうか）
2003年9月14日生まれ。京都府・同志社高校出身。セイルナンバーは35―89。155㌢。経済学部3年。

◆6月8・9日◆2024年度関西選手権第1戦◆於・甲子園浜（兵庫県）

関西の頂点を懸けた今大会。森居が優勝、谷山が準優勝をつかんだ。

森居は1レース目、得意の微風に乗り切れず3位でフィニッシュ。気持ちを切り替え2レース目に挑んだ。「レディースが得意な風なので何か一歩攻めないといけない」（森居）。意気込み通り、スタートから存在感を光らせ1位で帰着。午後は苦手風域でも高順位を維持し、首位で1日目を終えた。翌日も努力の成果を結実させる走りで周囲を圧倒。暫定順位を守り抜き、頂点に君臨した。

一方の谷山は体力不足や予報とは違う天候に苦戦し、順位が下がるレースもあった。しかし「ここでこぐのをやめたら絶対に駄目」（谷山）と最後まで自身を奮い立たせる。持ち前の精神力を保ち続け、2位に滑り込んだ。

関西選手権第一戦で表彰台の上位を独占。好発進を決め、同志社レディースの強さを示した。さらなる成長に向け、彼女たちの疾走は止まらない。

◆レディース順位表◆

順	大学名	名前	得点
①	同志社	森居　華	123
②	同志社	谷山叶佳	138
③	京　大	関谷紀胡	144
④	滋賀大	寺澤七望	157
⑤	同志社	相田茉央	197
⑥	阪　大	早川沙羅	204

レイアウト　矢部　彩香

同志社校友会
Doshisha Alumni Association
同志社校友会事務局
〒602-0867　京都市上京区寺町通丸太町上る松蔭町140-4
MAIL ： info00@doshisha-alumni.org　電話：075-251-4393
卒業生と繋がる
学生と繋がる
学生を支える

体育会学生×アルバイト

日々厳しいトレーニングを耐え抜き、同志社スポーツを盛り上げる戦士たち。今回は50を超える体育会の中から仕事も巧みにこなす４人の選手をピックアップ。多忙な彼らの私生活に迫った。

田上乃亜
（たがみ・のあ）
２００２年12月６日生まれ。兵庫県立国際高校出身。種目はアルペン。１７５㌢・70㌔。理工学部３年。

スキー部

将来見据えた挑戦

大学２年時から、在宅でプログラミングのアルバイトを始めた。「将来は社会を変えるような大きなシステムをつくりたい」。ＩＴ系の企業に就職することを視野に入れ、この仕事を選択。約半年間独学で勉強に打ち込み、必要な知識を蓄えた。

主な業務はＨＰの制作。入力する基本文法を理解し、色の設定やボタンの配置を決める。１つの広告に費やす時間は依頼によって変動するものの、最長で１００時間以上。一度掲載しても完成ではなく、閲覧数を確認し改善作業に取り組む。田上が手掛けた就活イベントのサイトでは、１週間ごとに細かい内容を修正。継続して訪問者や登録者数を増やすために工夫を凝らさなければいけない。「具体的な数字やインパクトのある言葉を入れるのがコツ」。見る人が求めている情報を分かりやすく伝えることが重要だ。

堅実に夢を追い求め、３年間競技スキーと向き合ってきた。「インカレ２部と全関西１部に昇格する」。達成できなければ部活を辞める覚悟で決意を語った。飽くなき探究心でスキーとプログラミングの両立に情熱を注ぐ。

ボードセイリング部

川本麻以
（かわもと・まい）
２００４年８月13日生まれ。京都府・同志社高校出身。セイルナンバーは 35−16。１６８㌢。経済学部２年。

水陸駆ける

ボードセイリング部ではレンタカー屋でのアルバイトが受け継がれている。練習場所である琵琶湖に足しげく通うため、運転する部員が多い部活動ならではの仕事だ。会社の車庫だけでなくさまざまな場所に車を届け、支店同士の連絡も行う。当初は運転をするたびに苦手意識があったが、何度もハンドルを握ることで技術が向上。「運転に対する恐怖心がなくなった」。今後は大きい車にチャレンジすることが目標だ。

昨年は1年生だけが出場するビギナーレースで基礎を固め、今年からは上級生の部門に登録。当初は１つの決断やミスが結果に大きく響き、新たな環境に不安を覚えていた。しかし勤務中にも先輩と関わる時間が生まれ、分からないことを相談する機会が増加。「社内での（先輩に対する）質問攻めが練習に生かされている」。風を読み、適切な判断ができるよう努力を欠かさない。

「今は先輩たちの背中を追って上位を目指すしかない」。１年時に培った経験を自信に変え、競技を楽しむ余裕が生まれた。車とボードの二刀流で団体戦メンバー選出を目指し、迎え撃つ荒波を乗りこなせ。

勝利へ導く頼もしい味方

お客様からの感謝の言葉を励みに働く木村は誰もが認める好青年だ。気持ちよくラウンドを回ってもらうためにキャディー中は笑顔を絶やさない。あだ名は親しみの意を込めて「きむさん」。中学校時代からその愛称で呼ばれてきた。業務は円滑にプレーするために行う多方面でのサポート。どのクラブでどこへ飛ばせばいいか、スコアを伸ばすために的確な情報やアドバイスを伝える。

ゴルフ場に企業の重役が訪れることは珍しくない。製菓会社の会長が木村の助言通りに打つと見事カップイン。お礼に大量のお菓子を受け取った。また、勤務中はゴルフを学ぶ絶好の機会でもある。「グリーン上での傾斜やラインの読み方が身に付いた」。競技者とコンビを組む中で、自分ならどう打つか常に頭の中でシミュレーションしている。仕事を終えた後、練習ができることも大きな魅力。誰よりも遠くまで飛ぶショットを習得するため、努力を重ねた。入学直後からメンバーに選出され続け、6月の全国大会では2日目にイーブンパーを記録。この日3位につけたチームの躍進に大きく貢献した。

関西優勝を目指すゴルファーでありながらプレーヤーをコースで助ける存在。西山組の一員として団体順位を押し上げ、栄光への道を切り開く。

ゴルフ部

木村太紀
（きむら・たいき）
２００５年３月20日生まれ。京都府・同志社国際高校出身。得意なクラブは８番アイアン。１７５㌢・67㌔。商学部２年。

多方面に全力注ぐ

洋菓子屋の店員、体操とバレーボール教室のコーチ、ブライダルスタッフ、遊園地のクルー、そして巫女(みこ)。これらを全て1人のバレーボーラーが器用にこなしている。「後悔のないように、今しかできないことをしたい」。忙しくても継続できる原動力は好奇心の強さにある。３年目となる洋菓子屋の店員と体操教室では、後輩を指導する立場になった。「１年生の時と比べるとシフトをうまく組めている」。自身の体調にも配慮し、スケジュール管理を徹底。多くの人と関わることで身に付けた洞察力やコミュニケーション能力はプレーにも生かされている。

中学生の頃に母の影響でバレーボールを始め、高校時代にはキャプテンを務めた。その楽しさが忘れられず、大学でも続けることを決意。現在は2部昇格に向けて、Ａクイックとβクイックの練習に重点を置く。平井の目標は速攻による決定率とブロックの成功率を上げ、会場を沸かせる爆発力のある選手になることだ。

バレーボールとプライベートに全力投球する平井。「教えるだけではなく、面白さなどの工夫を加えることで、今よりも頼ってもらえる先輩になりたい」と多忙な日々の中でも向上心を見せた。

バレーボール部女子

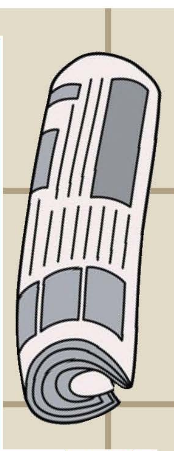
平井優紀
（ひらい・ゆき）
２００４年３月９日生まれ。大阪府・同志社香里高校出身。ポジションはセンター。１６９㌢。社会学部３年。

レイアウト　藤田　桃江

アトム徹底分析

体育会52部活の広報を担うスポーツアトム編集局。本号では他の体育会学生と同様に熱意を持ち活動する私たち自身に焦点を当てた。普段は表舞台に立つことのないアトムの知られざる秘密を一挙大公開だ！

Cancel　Click



To:ATOM
担当部とは何ですか？

アトムには硬式野球班とラグビー班が存在します。局員はどちらかの班に所属し、加えておのおのが3～4つの部活を担当部として引退まで取材します。

To:ATOM
どのくらいの頻度で活動していますか？

月に１度ＭＴＧを行います。週末は各担当部の取材に行くことが多く、紙面編集がない日は主に号外ビラを制作します。

アトムとは？

弊局は1978年に創部した本学唯一の体育会広報機関だ。各部を取り上げたスポーツ新聞を年に6回発行。号外ビラの制作やHP、SNSなどでたくさんの人に同志社スポーツの情報を発信し続けている。

全員の力を結集させ、紙面を一から作り上げることが最大の魅力。広告依頼による資金調達をはじめ、記事の執筆、レイアウト、企画の提案、新聞社との連絡など多種多様な業務をこなしている。発行後には校内や試合会場で配布を行う。「楽しみにしてくれる人がいる限り絶対に妥協をしない」（浅川・経3）。各部の功績を一人でも多くの人に知ってほしいという思いが原動力だ。多忙な日々を送る局員たちは時間や費用を犠牲にしながらも、決して努力を欠かさない。

労力を費やして新聞が出来上がった時の達成感は言葉では言い表せない。記事や写真を選手に見てもらえることにやりがいを感じることも多く、モチベーションの維持につながっている。

昨年度は学生最多となる12面構成のラグビー特集号を制作した。あふれ出るラグビー愛が評価され、第17回大学スポーツ新聞コンテストにおいて東西15大学の中で最優秀賞、ならびに原稿賞を受賞。「1年間取材した内容を全て詰め込んだ自信作で、苦労が報われた気持ちになった」（勝部・政策4）。こだわり抜いた渾身（こんしん）の紙面が日本一に輝いた。

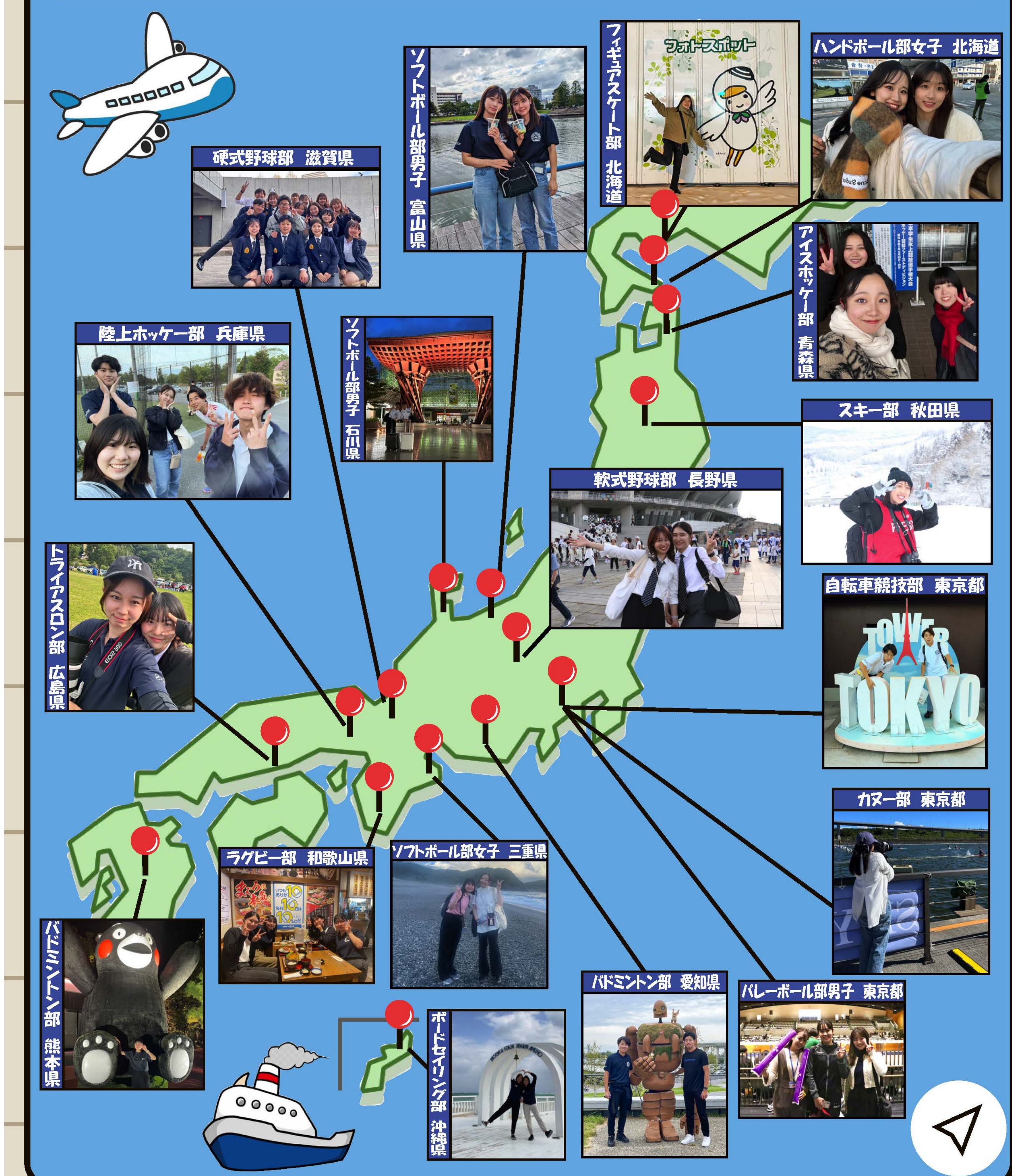
今年度は「共闘」をスローガンに掲げ、選手と共に勝利を願う。全身全霊をかけて私たちにしかできない形で、より一層体育会を盛り上げる。

▲新聞を見せる局員たち

取材はどうやって行う？

競技中の熱気あふれる姿を撮影し、ＳＮＳで試合経過をリアルタイムに発信。その後は監督や活躍選手に直接インタビューをする。「プレーヤーにしか分からないことをいかに引き出せるか」（西川・経2）。学生記者である強みを生かし、担当部とのコミュニケーションを欠かさない。生の声を聞き出すことが、記事の表現や内容に深みをもたらす。

同志社スポーツを盛り上げたい。アトム局員はその一心でこれからも日本全国を飛び回る。



2024年6月

局員が最も忙しい日々を過ごす編集期間。編集長をはじめ、全員が一丸となって紙面を作り上げている。

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
10 洗い出し〆切	11	12	13	14 記者決め		
17 面担期間	18 面担期間	19 面担期間	20 面担期間	21 面担期間		
24 記事期間	25 記事期間	26 記事期間	27 記事期間	28 記事期間	29 レイアウト調整 凸会議	30 データ集め
		3	4 初稿	5 再稿		
8	9 HO校正	10 HO校正	11 納品	12 発行		

▼記事期間

▶HO校正

▲データ集め

洗い出し
各面にどの部活動を掲載するか決めるため、試合結果を洗い出す。局員が担当部の活躍をアピールする機会でもある。

記事期間
レイアウターから伝えられた文字数に従い、記者が記事を書き上げる5日間。編集長と副編集長、校閲のチェックを受ける。

凸会議
記事期間内に凸を決め切ることができなければ会議を開く。意見を出し合うことで、記事の内容に合った凸が出来上がる。

HO校正
約20日間に及ぶ編集期間の集大成。印刷会社と連絡を取り合い、納得がいくまで記事やレイアウトを修正する。

面担期間
レイアウターがおおまかに紙面の構図を考える期間だ。記事の文字数や凸と呼ばれる見出しのデザインなどを決め、各自で調整を進める。

レイアウト調整　データ集め
レイアウトを自らの手で変更できる最後のチャンス。Illustratorのデータを送り、以降の修正は印刷会社に委託する。

初稿・再稿
記事の誤字脱字や内容に誤りがないかを記者が確認する。文字数の変更に応じて一度書き終えた文章を変更するのも彼らの仕事だ。

納品
完成した新聞を受け取った後は、定期購読者や他大学のスポーツ新聞部に最新号を届けるため、総務を中心に発送作業を行う。

Group Chat

普段から取材に応じていただいている体育会の方々にアトムについて伺った。

アトムのイメージを教えてください！

ソフトボール部女子・瀧川（スポ3）
部活でする企画や新年会にも参加してくれて、一緒に楽しんでくれる！
いろいろな大会に駆け付けてくれて、一緒に勝利を喜んでくれる。

柔道部・外村（政策4）
組織を支えてくれるパートナーのような存在。
体育会の組織にとってかけがえのない存在です。

レスリング部・奥村（社4）
体育会の良さを写真や新聞を通して引き出してくれる！

アトムに一言お願いします！

サッカー部男子・楠見（政策4）
どんな天候、場所でも、足を運んでくださりありがとうございます！
アトムさんが撮影する写真や新聞はいつも選手のモチベーションを上げてくれています！

ラクロス部女子・岩口（政策2）
どんな試合にも来てくださって、私たちの活動を新聞記事という形で発信してくださることをとてもうれしく思い、毎回楽しみにしています！
これからもよろしくお願いします！！

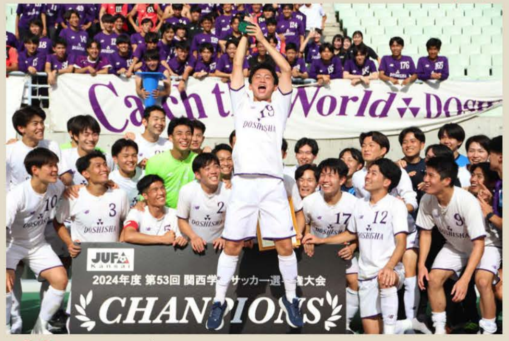
陸上ホッケー部男子・田中（経3）
いつも選手にもマネジャーにも気を配ってくださって感謝しています。
アトムさんの引きつけられる言葉と大学スポーツを愛する気持ちが伝わってくる記事を毎回楽しみにしています。

質問に答えてくださった皆さまありがとうございました！

今年度の　インスタのいいね数ランキング

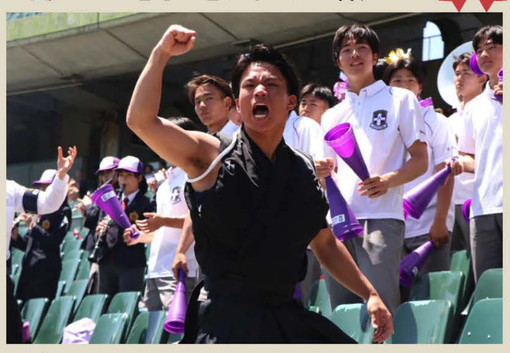
※7月10日時点

1
atom_doshisha
ヤンマースタジアム長居



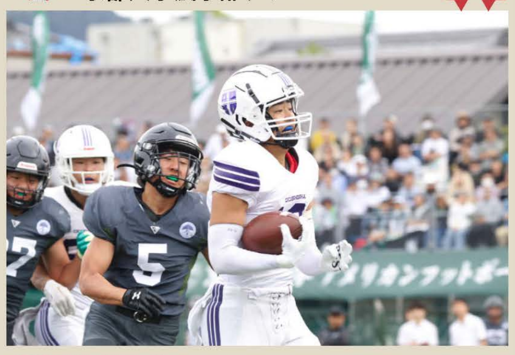
353件
【サッカー部男子】
第53回関西学生サッカー選手権大会決勝
長野太亮（スポ2）
14年ぶりの快挙を成し遂げた笑顔はじける瞬間にとても感動しました！（撮影・浅川明日香）

2
atom_doshisha
ほっともっとフィールド神戸



169件
【應援團指導部】
令和6年度関西学生野球連盟春季リーグ戦第5節
大石磨秀（政策4）
炎天下の中、精魂込めてエールを送る團長の姿がとてもかっこいいです！（撮影・浅川明日香）

3
atom_doshisha
京都大学農学部グラウンド



125件
【アメリカンフットボール部】
今出川ボウル２０２４
樋口慶太郎（商3）
絶対にこの瞬間を逃すわけにはいかないという強い思いで撮影しました！（撮影・河村柚希）

レイアウト　近藤　真子

高精度キッカーが魅せた 関西選手権V

同志社アトム サッカー部男子

14年ぶり14度目の総理大臣杯へ

雄たけびを上げる鹿取
【切り込み写真】
上・ドリブルをする國嶋
中・歓喜する選手たち
下・トロフィーリフトをする國嶋と喜ぶ選手たち

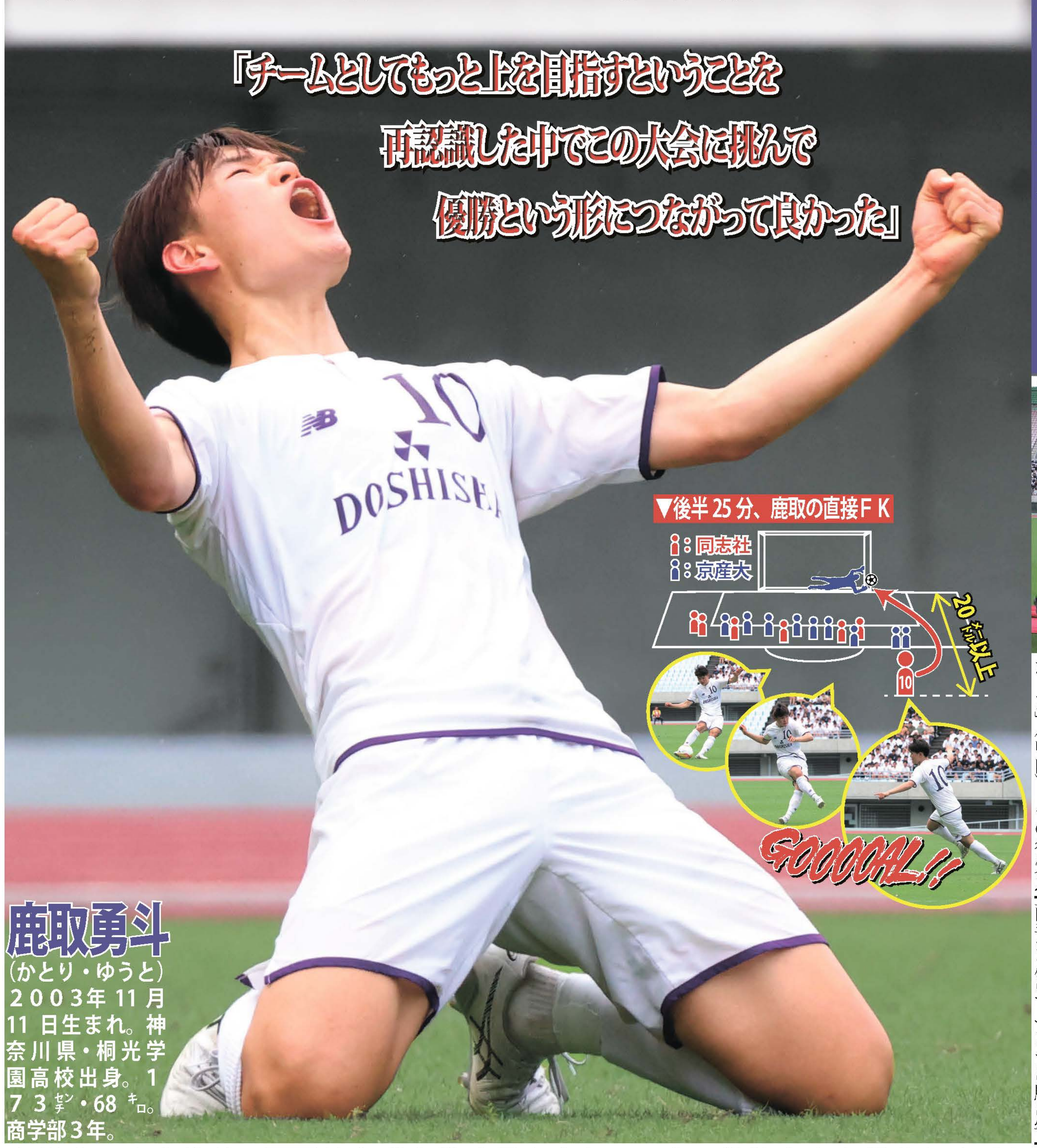
◆第53回関西学生サッカー選手権大会◆6月30日◆
決勝◆対京産大◆於・ヤンマースタジアム長居（大阪府）

同志社	2	1 - 1	1	京産大
		1 - 0		

12分【同志社】Pエリア左⑳～S
17分【京産大】中盤中央⑨→⑪～→Pエリア左⑦～S
70分【同志社】中盤 FK⑩S

繋 DUSC 2024 SEASON ～その先にある未来へ～

◆6月9日～30日◆第53回関西学生サッカー選手権大会◆於・ヤンマースタジアム長居（大阪府）他◆数々の強豪を破り、関西の頂点に君臨した。國嶋組初陣となる京都府選手権では京大相手に1―3。リーグ戦でも結果を残せず苦しい時期を過ごした。それでも全国出場を諦めることはなく、ミーティングを実施する。昨年同様の5バックを採用し、暗黒期から脱出した。次に見据えるのは日本一。約2カ月後に控える総理大臣杯で新たな歴史を刻むべく、夢舞台に乗り込む。



「チームとしてもっと上を目指すということを再認識した中でこの大会に挑んで優勝という形につながって良かった」

▼後半25分、鹿取の直接ＦＫ

鹿取勇斗
（かとり・ゆうと）
2003年11月11日生まれ。神奈川県・桐光学園高校出身。173㌢・68㌔。商学部3年。

勝ちロコ響く

昨年インカレ準優勝の京産大を破りタイトルを獲得。「1つの目標に向かって全員で取り組んできた成果が出た」（本田）。フルタイムの笛が鳴り響くと、両拳を力強く握った。

独特な雰囲気が選手たちを包み込む中、試合が始まった。前半12分に中山が相手の最終ラインでパスカットし、ゴール。「先制点を取りたいところで、相手のミスを見逃さなかった」（中山）。その後失点し、同点で迎えた後半25分。楠見がペナルティーエリア手前、やや右寄りの位置でＦＫ（フリーキック）を獲得する。キッカーは今大会2度の直接ＣＫ（コーナーキック）を決めた鹿取。「前半のＦＫでＧＫの位置と動きを確認していた。あの場所からのＦＫがあれば、自分のキック精度を生かして狙いたいと思っていた」（鹿取）。壁2枚の外側から巻く低い弾道のボールを蹴り出すと、狙い通りニアサイドへ。両手を広げてベンチに駆け寄り、仲間から手荒く祝福された。リードを奪ってもなお、堅実な守りが崩れることはない。後半は相手シュート数をゼロに抑え試合終了。14年ぶりの関西制覇を果たし、会場は歓声に包まれた。

度重なる逆境

決して順風満帆な道のりではなかった。5連覇を懸けた京都府選手権は、まさかの初戦敗退。続く関西学生リーグでも5連敗を喫し、最下位へ陥落していた。「自分たちならなんとかなるだろうと思っていた」（波多野）。取り組み方を見直すべく、大会初戦前に練習時間を全て使い、ミーティングを実施。「1番の議題は自分たちがやりたいことをするのか、負けないサッカーをするのか。そこで絶対に負けないサッカーをしようと決めた」（本田）。プロ志望の選手に練習の強度を合わせることを決め、より一層結束力を高めた。

「自信を持ってプレーすることができなくて、失点が多かった」（國嶋）。19失点という数字を重く受け止め、昨シーズン同様の5バック案を採用。昨年もプレーしていた選手が多いだけに、各選手が実践に落とし込むことは難しくなかった。新しい戦術が功を奏し、5試合での失点はわずか4。苦しんだ末の歓喜の味は格別だった。

夢への再挑戦

同大サッカー部史上、いまだに全国優勝を果たしたことはない。東北で行われる本戦まで約2カ月。「全国出場は良い経験だけど、全国でも勝ってもっと良い経験をしたい」（本田）。勝っても負けても一度きり。切望する日本一へ突き進む。【浅川明日香】

▼鹿取のプロ意識

キッカーとして関西トップクラスの実力を持つ鹿取は、誰よりも遅くまでグラウンドに残り自主練習を行う。ピッチ内はもちろん、私生活でも一切の妥協を許さない。高校時代のけががきっかけに栄養面を重視。プロテインやサプリメントを「体をつくる上で大事」と語り、『四条でもプロテイン』とあだ名を付けられるほど常に持ち歩いている。友人とラーメン屋に行った際も脂質の高いラーメンは控え、チャーシュー丼のみを食べる徹底ぶり。いまだにお酒を口にしたことはなく、部活で行う飲み会でも水を飲んでいる。

「私生活の部分をこだわらないとプロにはなれない」。チーム随一のストイックさを持つ背番号10はチームのためにゴールを狙い続ける。

愛媛FCで始まる挑戦

昨季Ｊ２に昇格した愛媛ＦＣが金沢の入団を発表した。屈強なＤＦは183㌢、79㌔の恵まれた体格と両足から繰り出される正確なロングフィードを持ち合わせる。「フィジカル的な部分やヘディングの強さを評価してもらった」。同志社からＪ２に内定した選手は、ガイナーレ鳥取の三浦（商卒）以来12年ぶりとなる。

小学3年時に兄の影響で地元のチームに加入。当初は楽しむことが目的だった。プロを意識するようになったのは高学年の頃。「西野選手とプロになるという約束をしたことがサッカー選手を目指すきっかけとなった」。幼少期に西野貴治選手（当時ガンバ大阪所属）と交わした約束を果たした。

「まだスタートラインに立てただけ」と夢をかなえても現状に満足することはない。今シーズンは特別指定選手としてＪ２での活躍にも期待がかかる。プロ選手のスピード感を肌で実感したことで、練習に対する姿勢も変化した。強い責任と自覚を持ち、憧れの地でも躍動する。

▲ロングキックを蹴る金沢（スポ4）

レイアウト　浅川　明日香

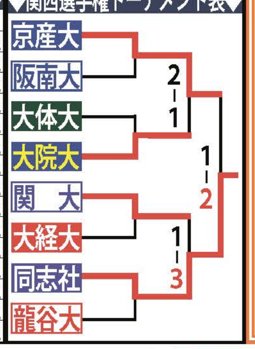
◆関西選手権ベンチ入りメンバー◆

FW	9	野頼駿介（のより・しゅんすけ）	桐光学園	175㌢・70㌔	法2	試5 得点2
FW	12	楠見堅（くすみ・けん）	修猷館	174㌢・63㌔	政策4	試5 得点1
FW	15	山崎陸成（やまざき・りくせい）	星稜	177㌢・71㌔	商3	試4 得点1
FW	33	仲田堅信（なかた・けんしん）	米子北	170㌢・62㌔	神1	試0 得点0
MF	10	鹿取勇斗（かとり・ゆうと）	桐光学園	173㌢・68㌔	商3	試5 得点3
MF	20	中山織斗（なかやま・おと）	國學院大久我山	178㌢・68㌔	商2	試5 得点1
MF	7	杉山陽太（すぎやま・ひなた）	前橋育英	180㌢・70㌔	スポ2	試3 得点0
MF	8	前田一勇（まえだ・いっさ）	星稜	175㌢・69㌔	スポ3	試5 得点1
MF	17	宗川遼哉（むねかわ・りょうや）	岡山学芸館	171㌢・69㌔	法4	試4 得点0
MF	22	吉川祥五（よしかわ・しょうご）	関大第一	172㌢・67㌔	法3	試2 得点0
MF	13	馬場啓太朗（ばば・けいたろう）	大阪桐蔭	175㌢・70㌔	文情3	試3 得点0
MF	25	小野理竜（おの・りろ）	青森山田	170㌢・66㌔	経2	試0 得点0
MF	11	安井凌羽（やすい・りょう）	同志社香里	178㌢・63㌔	政策3	試5 得点1
DF	6	廣島大雅（ひろしま・たいが）	星稜	182㌢・76㌔	社4	試5 得点0
DF	2	本田良輔（ほんだ・りょうすけ）	東福岡	168㌢・68㌔	経4	試5 得点0
DF	3	小山凌（こやま・りょう）	京都橘	184㌢・77㌔	法4	試5 得点2
DF	5	國嶋康介（くにしま・こうすけ）	桐光学園	180㌢・71㌔	法4	試4 得点0
DF	28	鈴木良（すずき・りょう）	松山北	174㌢・67㌔	法3	試5 得点0
DF	19	長野太亮（ながの・たいすけ）	C大阪 U18	168㌢・63㌔	スポ2	試1 得点0
DF	27	久保田琳太（くぼた・りんた）	札幌 U18	190㌢・83㌔	商3	試0 得点0
GK	21	波多野崇史（はだの・そうし）	広島ユース	182㌢・75㌔	スポ3	試5 失点4
GK	1	祓川ダニエル（はらいかわ・だにえる）	同志社	188㌢・75㌔	社3	試0 失点0
GK	31	栗村真尋（くりむら・まひろ）	海星	180㌢・65㌔	生命3	試0 失点0

◆過去15年間の年度別成績◆

年	関西選手権	関西リーグ
09	3位	1部6位
10	優勝	1部5位
11	ベスト8	1部2位
12	ベスト8	1部12位
13	初戦敗退	2部1位
14	初戦敗退	1部12位
15	初戦敗退	2部1位
16	初戦敗退	1部11位
17	初戦敗退	2部1位
18	初戦敗退	1部11位
19	ベスト16	2部3位
20	中止	1部9位
21	ベスト16	1部5位
22	ベスト16	1部9位
23	ベスト8	1部6位

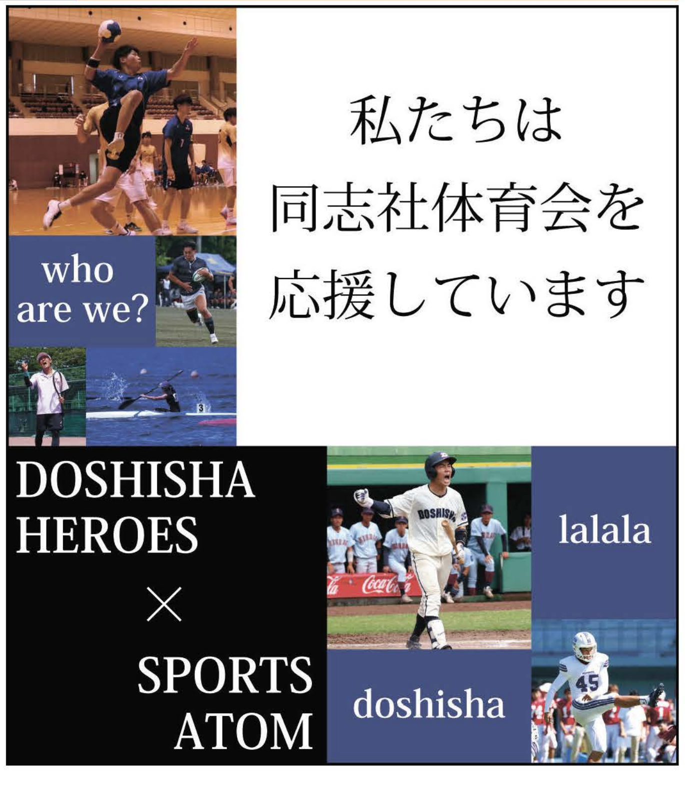
◆関西選手権トーナメント表◆



次回予告 10/1発行予定！
夏季結果号
ぜひお手に取ってご覧ください！

¥7,000から
広告承ります
〒602-8580
京都市上京区上立売新町西入ル西大路町61-1
同志社スポーツアトム編集局

紙器用板紙全般
大和板紙株式会社
DAIWA ITAGAMI
代表取締役社長
北村貴則
（平成5年度商学部卒業）
本社工場　〒582-0004 大阪府柏原市河原町5-32
電話　柏原（0729）71-1445 代表
FAX（0729）71-1449


私たちは
同志社体育会を
応援しています
who are we?
DOSHISHA HEROES × SPORTS ATOM
lalala
doshisha

follow us on Instagram
公式アカウントはこちら！！
@atom_doshisha
ビラアカウントもございます！
@atom_doshisha_